

拠点2 嬉泉の保育

1 事業概況(運営方針・目標の実施状況)

嬉泉の保育拠点（以下、保育拠点とする）は、新たに策定された法人理念である、ミッション「私たちは支援者と利用者が互いに認め合いながら自分らしく生きることを支えあう独自の援助活動を社会に広げていく」と、ビジョン「私たちは、かかわる一人ひとりが安心でき、主体性を発揮し、自己実現を目指す共生社会を実現する」を掲げて事業運営を行った。保育拠点で並行して作成してきた保育理念については年度内に法人理念との整合性を確認し、今後は法人理念を職員に解説する際に活用することになった。

法人理念に基づいた保育や仕事を行うと共に、長期的な視点にたった事業運営や保育の質を確保するため、すこやか園（子どもの生活研究所拠点）を含めて保育会議（運営会議）を定期開催し、その中で情報共有や懸案事項の検討を行う等、拠点内で協力しながら運営管理や人材育成等を行った。また、毎年行われる世田谷区による巡回指導や一般指導検査を受け、その中で自園の事業運営の報告等を行い、概ね適正な運営が為されていることが確認された。

○目標に対する実施状況

1) 事業所運営会議の実施

これまで拠点運営の話し合いが進む一方、事業所運営について場長を交えて考える場がなかった。そのため、園毎に場長・園長・副園長・事務主任が隔月で集まり、事業所運営会議を開催した。各園、運営状況の報告や相談、事業内容の振り返り等を行い、場長からのSVを受けた。宇奈根については今年度より開始した給食委託会社との関係や大規模修繕に向けた相談を実施、鎌田については育成の難しい職員についての相談を実施した。また、鎌田は主任も参加し、主任の考えや思いと法人の運営方針にずれがないか等を確認する機会にもなった。後期には、宇奈根も主任の参加を予定していたが、保育体制が整わず実現しなかった。次年度は参加メンバーを主任以上の職員としていく。

2) 新たな法人理念の周知、保育理念の調整

法人理念については、第1回新人フォローアップ研修（主任企画、場長SV）の中で、場長より説明する機会を設け、新人や参加職員に周知を行った。また、各園にて周知を進めたところ、これまでの法人理念に比べて分かりやすくなった、仕事をする上で大切にすべきことが明確になったとの声が上がっている。子どもと関わる中で迷った時に、ハンドブックを手にとっていると答える職員もいた。

保育理念については、年度内に法人理念との整合性を確認し、内容の調整は不要との判断に至った。今後は保育理念という形ではなく、法人理念を職員に分かりやすく解説する際に活用していくことになった。

3) 中期計画の策定

保育拠点の運営について、長期的な見通しを持って対応していくために、昨年度後半より「嬉泉の保育の会」にて中期計画策定作業を開始した。今年度は自園や保育拠点としての強みと弱みをまとめ、STEP2の未来年表まで作業を終えた。3C分析に時間を要したため進捗は思わしくないが、根拠となる数字や情報をどう読み取るかを考え、参加メンバーによる意見交換を通して、主任を含めた職員の事業運営に対する自我関与が高まった。

また、区内における0歳児の定員割れが深刻な状況の中、次年度より「はじめてのおともだち事業（0歳児定期保育）」が単年度事業として実施される等、区も様々な施策を考えている。中期計画の策定にあたっては、今後の区の動向をよく注視しながら考えていく。

4) 保育拠点内の連携

保育会議では、保育拠点としての意思決定を行うと共に、健全な事業運営や保育の質を確

保するため、引き続き運営管理や人材育成等についての情報共有や意見交換を行った。具体的には区の動向や施策についての情報共有、拠点研修（新人フォローアップ研修×2回、階層別研修及び主任研修×1回）の検討や振り返り、拠点事業の振り返りや次年度計画の検討を行った。

階層別研修（対象：グループリーダー層、次期グループリーダー層）については年間2回の開催を予定していたが、1回目実施後の振り返りの中でグループリーダーと副主任の役割が明確になっていない可能性が浮上したため、今後の研修やそのねらいを考えるにあたり、先に両者の役割や責任の範囲を明らかにすることになった。（次年度完成予定）

また、主任については主任会の開催には至らなかったが、嬉泉の保育の会や拠点研修の企画等において互いに連絡を取り合い、各園の状況・安全計画・人材育成についての情報共有や意見交換をすることができた。鎌田では運営や人材育成に対する主任の自我関与が高まったが、自園だけで考えていくには難しさがあると感じた様子。宇奈根からも主任会の開催希望が上がったため、次年度は主任会（保育3園）を定期開催していく。

#### 5) 安全計画に基づいたリスク管理や職員研修

4月より安全計画に基づき、子どもや保護者への安全教育、保護者への園での取り組みの伝達を行った。職員に対しては、園内環境点検や保育環境の見直しをはじめ、食事・睡眠・水遊びといった事故が発生しやすい場面での対応、不適切保育（子ども理解）について考える研修を各園にて行った。安全計画については、区の一般指導検査や保育サポート訪問において実施状況の確認が入り、ここまで実施できている園は少ないとの評価を得た。また、送迎保育ステーション事業では、送迎バスに児童置き去り防止装置を設置し運用を始めた。装置の設置が普及しても全国における置き去り事故は後を絶たず、毎月実施している送迎バスの打合せにおいて、その都度運用状況の確認や職員への注意喚起を行った。

#### 6) 他拠点会議への参加

子どもの生活研究所と嬉泉の保育の看護師による看護師会に参加し、各園の感染症や事故発生状況、応急処置や受診対応等についての情報共有を図り、自園の対応に活かしてきた。また、衛生環境向上や職員の応急処置の技術向上に関して、各園にてAED操作訓練・エビペン講習・嘔吐処理講習・心臓マッサージ講習等を行っているが、実施前に講習内容の情報更新やマニュアルの改訂作業等を実施した。

#### 7) 職員の定着と採用活動への協力

職員の定着について宇奈根では、育成面談の中で確認し共有するとしていたが、グループ打合せ等の場における職員のやり取りから、日常的な横のつながりや支え合いができていのかどうかを確認する形に変更した。当初は責任の有無や経験年数の違いから発言の意図が上手く伝わらない様子が見られていたが、園内研修で子どもと関わる上で何を大切にするかを話し合い、これを共有し知ることによって、職員同士が立場を超えて相手を理解することにつながった。風通しの良い職場環境にするため、今後も職員同士が対話する機会を増やしていく。鎌田では、職員同士のコミュニケーションの活性化が必須と考え、主任を中心に主任・副主任会を不定期とはなるが開催。他に、日常的に打合せの場を設け、些細なことでも職員一人一人に関する情報を園長も含め副主任以上で共有する意識を持ち、職員一人一人を大切に考え関わる取り組みとして、「気軽に一声」活動を進めてきた。また、育っている職員が嬉泉で働くやりがいを見出せるよう、まず主体的に働けるように職員の子どものために「これをやりたい」をキャッチし、尊重するように心掛けた。これにより職員関係や保育活動におけるストレスを理由とした相談や無断欠勤等はなかった。

採用活動については、2年目の鎌田本園職員がリクルーターとして就職フェア等に参加した。採用活動の一環として法人採用係と協力し、鎌田本園主任が保育士専門学校にて講義を行い、参加した学生の採用説明会への参加につながった。

### ○各園の課題に対する実施状況

#### 1) 宇奈根なごやか園

ア コロナ禍で不足していた保護者とのコミュニケーションを増やすため、保育参観に力を入れ、ほぼ全家庭が年2回参加した。職員が参観中の保護者に対して保育のねらいや子どもの姿を解説し、特に配慮児については子どもの気持ちの動きや他児との関わりを含めて以前からの変化を伝達した。実施後の保護者アンケートから、保護者の子どもへの理解や安心につながったことが確認できた。

降園時の子どもの引継ぎ方法については、前期は何らかの感染症や体調不良児者が断続的に発生していたため、感染症対策を兼ねて変更しなかった。年度後半に実施した親子参加行事（親子交流会）により、保護者とのコミュニケーションが少なかった職員もやり取りする自信が多少つき、変更への心理的な抵抗感が薄らいだ。そこで年度末の移行期間に合わせて引継ぎ方法を職員に周知し変更を行った。

イ 保育のねらいや子どもの育ちを保護者と共有することに役立てるため、保育記録作成についての勉強会を行う予定でいた。まずは主任がグループ打合せ内で現状把握を行い、職員に対して記録が持つ意味や書き方、記録の活用方法を改めて伝える必要があると分かったが実施には至らなかった。次年度も継続していく。

ウ 給食業務が外部委託となったため、委託会社とよく連携を取りながら食事や食育活動を進めてきた。毎月の給食会議内で検食や子どもの食べ具合から分かったことを共有し、次の提供時に反映してもらったが、使用食材（冷凍）や調理方法から思うように改善しないこともあった。栄養士による食事の巡回頻度が少ないため、子どもの姿をもとに話を進めることが難しかった。次年度は食育活動を含めて相談できるように、定期的な巡回を依頼した。

## 2) 鎌田のびやか園

ア グループの垣根を超えた職員の連携・協力体制の強化を目的とした人材育成を進めるため、これまでの人材育成体制を見直し、新たな取り組みとして人材育成会議を設置した。

人材育成会議では、管理者と人材育成担当者間で職員の育成目標や育成に関わる個々の情報を共有することができ、育成対象となる職員に対し複数人で関わり職員個々の育ちを支えることに繋がったといえる。

しかし、職員のシフトや休み、さらには保育活動等により、主だった職員が集まることが難しく、定期的に人材育成会議を行うことができなかつたため、管理者と主任・主任と副主任・副主任とグループリーダーといった局所的な話し合いのうえ進めていくこととなったことから、手応えは掴めつつも当初の目的を達成するまでには至っていない。

次年度は、職員のシフトや休み・保育活動等に影響を受けない形で、この新しい人材育成が進められるよう工夫していく必要がある。

イ 2023年度より義務付けられた安全計画を策定し、計画に則り安全点検（園内・戸外）・実踏調査・防災訓練・防犯訓練・子どもへの安全教育を進めることができた。

また、各グループ年2回予定された保護者会においては、安全計画の説明・保育所における安全に関する取り組み等の説明を通して、子どもの生命や人権を守るための安全教育について、一緒に考える機会を作ることができた。

## 2 月間・年間行事等実施状況（※別紙の通り）

その他、生活習慣病予防健診・定期健診の実施状況（2園合計人数）

・生活習慣病予防健診	46名	
・定期健診	43名	合計89名

## 3 職員体制（※組織図を添付）

#### 4 職員研修

##### 1) 事業所内研修

日程	研修名	開催場所	参加者
4月	新人オリエンテーション	宇奈根なごやか園	5名
4/3	新人オリエンテーション	鎌田のびやか園	3名
4/3	新人オリエンテーション	鎌田のびやか園分園	2名
4/3	防災教育（避難先確認）	喜多見7丁目広場等	2名
4/3	防災教育（避難先確認）	明正小学校	3名
4/3	記録の書き方	鎌田のびやか園	2名
4/4	職員の手引き読み合わせ	鎌田のびやか園	3名
4/4	防災教育（避難先確認）	喜多見7丁目広場等	2名
4/24	初期対応講習	鎌田のびやか園	2名
4/24	安全計画とは	鎌田のびやか園	35名
4/24	大型連休明けの保育・SIDS	鎌田のびやか園	35名
4/24	てんかん発作対応	鎌田のびやか園	35名
4/25	嘔吐処理講習	鎌田のびやか園	2名
4/25	防災教育（避難経路・消火器）	鎌田のびやか園	35名
4/26	嘔吐処理講習	鎌田のびやか園	35名
4/26	安全計画について	鎌田のびやか園分園	14名
4/26	SIDS	鎌田のびやか園分園	14名
4/26	防災教育（避難経路・消火器）	鎌田のびやか園分園	14名
4/26-28	防災教育	宇奈根なごやか園	20名
4/26-28	園外活動における諸注意	宇奈根なごやか園	20名
5/8	事故報告書等の書き方	鎌田のびやか園	35名
5/9	嘔吐処理講習	鎌田のびやか園	2名
5/24	アクシデントシート・事故報告者の書き方	鎌田のびやか園分園	12名
5/29	心肺蘇生の研修	鎌田のびやか園	35名
5/30	心肺蘇生の研修	鎌田のびやか園	1名
5/30, 31	防災教育（水害）	宇奈根なごやか園	20名
5/30, 31	熱中症対策	宇奈根なごやか園	20名
6/3	新人フォローアップ研修	子どもの生活研究所	14名
6/6	児童票の書き方	鎌田のびやか園	1名
6/10	主任研修	宇奈根なごやか園	1名
6/13	エピペン研修	鎌田のびやか園	7名
6/13-21	心肺蘇生法、AED操作研修	宇奈根なごやか園	32名
6/14	児童票の書き方	鎌田のびやか園	11名
	エピペン研修	鎌田のびやか園	1名
6/15	エピペン研修	鎌田のびやか園	7名
6/23	エピペン研修	鎌田のびやか園	1名
6/26	子どもの呼び方	鎌田のびやか園	35名
	人権擁護委員勉強会	鎌田のびやか園	35名
	感染症についての勉強会	鎌田のびやか園	35名
	窒息に関する勉強会	鎌田のびやか園	35名
6/28	水遊びでの事故防止について	鎌田のびやか園分園	11名
6/28	不適切保育について	鎌田のびやか園分園	11名
7/8	階層別研修	子どもの生活研究所	13名
7/24	お盆時期の保育について	鎌田のびやか園	35名
	人権擁護委員勉強会	鎌田のびやか園	35名

7/26	事故防止係勉強会（ヒヤリハットフィードバック）	鎌田のびやか園分園	10	名
7/26	防災教育（避難経路・排煙窓・防火ダンパー）	鎌田のびやか園分園	10	名
9/4	エビペン研修	鎌田のびやか園	4	名
9/21	エビペン研修	鎌田のびやか園	3	名
9/25	虐待に関する勉強会	鎌田のびやか園	35	名
9/27	不審者対応マニュアルについて	鎌田のびやか園分園	10	名
9-10月	感染症ガイドライン研修	宇奈根なごやか園	20	名
10-11月	嘔吐処理講習	宇奈根なごやか園	32	名
10/22	虐待に関する勉強会	鎌田のびやか園	35	名
10/25	対応基準チェックシートフィードバック	鎌田のびやか園分園	11	名
10/25	人権擁護係勉強会（小児性愛者について）	鎌田のびやか園分園	11	名
11/4	新人フォローアップ研修	子どもの生活研究所	14	名
12/25	虐待に関する勉強会	鎌田のびやか園	36	名
12/27	虐待に関する勉強会	鎌田のびやか園分園	11	名
12/27	事故防止係勉強会（ヒヤリハット集計）	鎌田のびやか園分園	11	名
12/25, 27	保育目標について考える 「主体的に行動する子」	宇奈根なごやか園	20	名
1/10	異物除去研修	鎌田のびやか園	19	名
1/12	異物除去研修	鎌田のびやか園	2	名
1/15	異物除去研修	鎌田のびやか園	3	名
1/22	虐待に関する勉強会	鎌田のびやか園	35	名
1/31	保育目標について考える 「たくましく自分の力がはたらく子」	宇奈根なごやか園	20	名
2/19	異物除去研修	鎌田のびやか園	4	名
2/26	虐待に関する勉強会	鎌田のびやか園	35	名
2/26, 29	保育目標について考える 「人を思いやる豊かな心をもつ子」	宇奈根なごやか園	20	名
3/2	職員全体研修	浦安ブライトンホテル	14	名
3/19	新体制職員会議	宇奈根なごやか園	17	名
3/27	人権擁護係勉強会（不適切保育について）	鎌田のびやか園分園	9	名

## 2) 保育拠点内研修

### ア 新人フォローアップ研修

法人のガイドラインに基づき、新人フォローアップ研修を年2回実施した。

6月の第1回目は、横（同期）のつながりと懇親をテーマに、新しい法人理念に関連する謎解きゲームや入職以降の自分を振り返る話し合いを行った。新人職員はあまり緊張を伴わずに自己開示することができ、互いの話を聞く中で相手を知る機会となった。また、上位者から新入職員に対して、その働きぶりを肯定する話を聞き、継続して働く意欲につながった。

11月の第2回目は、縦（上位者）のつながりと報連相をテーマに、報連相についての講義とグループワーク、上位者を含めて自身の仕事を振り返る話し合いを行った。講義等を通してコミュニケーションの大切さに気付き、上位者や同期職員と交流する中で仲間としてのつながりや自身の成長を感じることができた。

### イ 階層別研修

- ・主任研修：どの階層に焦点を当てて研修を実施するかを考えること、研修を企画運営する主任同士の円滑なコミュニケーションをはかることを目的として、5月に副園長主導で主任研修を行った。副園長が主任の意向調査（階層別研修の対象者、ねらい）を行うと共に、宇奈根なごやか園での作業活動（環境整備）を通して主任同士の交流

をはかった。これ以降、主任同士が気軽に連絡を取り合い、相談し合う様子が見られた。

- ・グループリーダー層研修：グループリーダーになるとグループの運営や書類作成等の業務に対する責任が発生する。新たな役割の発生に伴い、保育をする上で大切にしてきたことが二の次になりやすい傾向がこれまで見られてきた。そこで、グループリーダーや次期グループリーダー候補の職員を対象に、業務が増えても大切にしたい事柄を再確認することをテーマに研修を行った。職員は研修を通して、子ども一人一人と丁寧に関わっていくこと、その関わりを通して子どもへの理解が深まることに改めて気づき、関わる時間を捻出するための業務上の工夫を話し合う姿が見られた。また、主任からこれらの取り組みが記録作成や安全管理にもつながるという話を聞いたり、同じ立場にある職員が同じような悩みを抱えていることを知ったりする中で、各園の職員交流を今後行いたいとの声が上がった。今回の研修では職員自身の自己理解をも一つのテーマとして上げていたが、これについては育成担当者である主任が日常業務の中で対応していくことになった。

#### ウ 交流研修（サッカー教室、D I Y活動）

- ・サッカー教室は、5歳児クラスの子どもの運動機能や神経系の発達を育む活動としてまた子どもの主体性を育む保育の在り方を伝えていくことを目的として実施。感染症や天候等を理由に中止になることがあっても、概ね週1回行うことができた。11月には昨年度に引き続き、3園総当たり戦の交流試合（K I S E Nカップ）を開催した。
- ・D I Y活動は、その活動を通して子どもの見立て、保育内容や環境の設定、保育者としての姿勢や関わり方について学ぶことを目的とし、概ね隔月1回程度実施することができた。また、D I Y活動から調理活動へと保育が展開する様子も見られた。
- ・11月に行われたサッカー交流試合以降、5歳児クラスの交流が増えた。3月には近隣にあるリコー総合グラウンド場を借りて、サッカーの1 DAYトーナメントを開催。子ども達は概ね同じ小学校に進学するため、就学後の関係を作る機会になった。
- ・両活動を通して園長が直属ではない職員と話し、職員の子どもへの関わりを認めたり職員自身の考えを整理する手助けをしたりする中で、職員の仕事への意欲や自信につながるよう支援を行った。次年度も継続していきたい。また、やること自体が目的化しないように注意する必要があるが、次年度もフットワーク軽く各園が交流し、子どもや職員の関係性や活動の幅を広げていきたい。

### 3) 外部研修（開催場所が園名のところはオンライン研修）

日程	研修名	開催場所	参加者
—	保育キャリアアップ研修（乳児保育）		3 名
—	保育キャリアアップ研修（幼児教育）		3 名
—	保育キャリアアップ研修（障害児保育）		6 名
—	保育キャリアアップ研修（食育・アレルギー）		2 名
—	保育キャリアアップ研修（保健衛生・安全対策）		2 名
—	保育キャリアアップ研修（保護者支援・子育て支援）		6 名
—	保育キャリアアップ研修（マネジメント）		4 名
5/22, 9/4, 10/26, 11/20	保育の基本研修	教育総合センター	1 名
5/29, 11/2	乳児保育研修	教育総合センター 三茶しゃれなあど	1 名
5/29	心肺蘇生法研修 (BLSプロバイダーコース)	東京トレーニングラボ 浜松町スズエベイディウム	1 名
6/2, 11/8	園評価研修	三茶しゃれなあど 教育総合センター	1 名
6月7日	保育充実研修 「環境構成と援助」	教育総合センター	1 名
6/19, 11/6	幼児教育研修	教育総合センター	2 名

6/23	リスクマネジメント研修（発展）	教育総合センター	1名
6/28	砧保育ネット	希望丘保育園	1名
6/30	保健衛生管理講習会	鎌田のびやか園（本園、分園）	3名
6/29, 9/14	第2回子どものすこやか排便習慣サポート	宇奈根なごやか園	1名
7/20	上級救命講習	川崎市高津消防署	1名
7/21	初任者研修	鎌田のびやか園	2名
7/26	管理職研修	宇奈根なごやか園	1名
8/1	コンパスワークショップ1 「保育を語ろう」	三茶しゃれなあと	1名
8/3	発達障害支援 スキルアップ研修	ワイルド会議室高田馬場	1名
8/25	コロナ現状について	宇奈根なごやか園	1名
8/29	保護者支援研修	教育総合センター	1名
9/1	小児性愛障害、小児性加害の理解	北沢タウンホール	2名
9/7	コンパスワークショップII 「保育を語り合おう」	三茶しゃれなあと	1名
9/9	発達障害支援 スキルアップ研修	子どもの生活研究所	1名
10/23	発達障害支援 スキルアップ研修	ワイルド会議室お茶の水	2名
10/24	区看護師合同意見交換会	成城ホール	2名
11/10	子ども理解と伝える力、記録について	教育総合センター	1名
11/22	発達障害支援 スキルアップ研修	ワイルド会議室高田馬場	1名
11/24	幼保小接続推進研修「幼児の発達と学びをつなぐ要録」	教育総合センター	2名
11/24	食物アレルギー事故防止対策研修	宇奈根なごやか園	1名
11/28	子どもの権利研修	宇奈根なごやか園	1名
12/19, 20	中堅職員重点テーマ強化研修	宇奈根なごやか園	1名
1/19, 31	保育士特定登録取消者管理システム説明会	宇奈根なごやか園	1名

## 5 実習生等の受け入れ

- |                |                              |
|----------------|------------------------------|
| 1) 見学者         | 107名（宇奈根：26、鎌田本園：49、鎌田分園：32） |
| 2) 夏季アルバイト（学生） | 0名                           |
| 3) ボランティア（学生）  | 33名（宇奈根：0、鎌田本園：33、鎌田分園：0）    |
| 4) 職場体験（学生）    | 11名（宇奈根：7、鎌田本園：3、鎌田分園：1）     |
| 5) 実習生         | 総数 4名（東京都市大学）                |

## 6 委員会活動

事故防止、人権擁護（虐待防止）、防災、情報セキュリティ、苦情解決については各園で係をおき、安全計画等に基づいて研修を行った。

BCP（事業継続計画）について、鎌田は世田谷区民間保育園連盟主催の作成研修を受け、感染症発生時の対応も含めた計画が完成した。宇奈根は研修参加枠が限られていたことから、鎌田が作成したBCPを参考に次年度自園のものを改訂予定。

## 7 その他（建物改修、設備・備品等購入等）

- 宇奈根なごやか園
  - テラス腐食部分応急処置
  - 厨房機器の修繕（ガスコンロ）

- ・フローリングの浮き修繕（2歳児室、3・4歳児室、多目的室）
- ・床暖房漏水調査（フローリングの浮きに伴い実施）、保育側給湯器点検
- ・遮熱及び飛散防止フィルムへの張替（テラス側ガラス部分、安全対策補助金の活用）

## 2) 鎌田のびやか園

- ・学童サッカー教室：現在、小学1年生から4年生までの卒園児24名が登録し参加。登録者の増加から、1・2年生の部と3・4年生の部の2部制で対応した。また、学童サッカー教室に付随し、卒園児による保育所ボランティアも増加した。
- ・パソコンとNASの入れ替え
- ・携帯電話とスマートフォンの入れ替え
- ・2歳児保育横扉のレール修繕



## 別紙（事業報告書関係）

## 年間行事等実施状況

	行事				会議等(外部)		会議等(内部)	
	日	内容(なごやか)	日	内容(のびやか)	日	内容	日	内容
4月	3	入園を祝う会(新入園児.保護者)		入園の集い(新入園児.保護者)	12	世田谷区園長会	3 5 13 19 25	辞令交付式 保育会議、宇奈根運営会議 情報連絡会 経営会議・園長会 嬉泉の保育の会
5月	24	前期保護者会(全Gr.) 田植え(5歳児Gr.)			2	世田谷区園長会	10 11 17 29	保育会議、鎌田運営会議 情報連絡会 経営会議 嬉泉の保育の会
6月		保育参観、個人面談			6 28	世田谷区園長会 砧地域保育ネット	3 7 8 21 23 27	新人フォローアップ研修① 保育会議、宇奈根運営会議 情報連絡会 経営会議・園長会 保育会議(7月分) 嬉泉の保育の会
7月	7 6 14	保育参観、個人面談 七夕 全園児健診 お泊り会(~7/15、5歳児Gr.)		七夕	14	世田谷区園長会	6 8 19	情報連絡会、鎌田運営会議 階層別研修 経営会議
8月							2 4 15 16 17	保育会議、宇奈根運営会議 嬉泉の保育の会(7月分) 嬉泉の保育の会 経営会議 情報連絡会
9月	1	保育参観、個人面談 引継ぎ訓練			1 29	世田谷区園長会 砧地域保育園長会	6 14 19 20	保育会議、鎌田運営会議 情報連絡会 嬉泉の保育の会→中止 経営会議
10月	4 18 21 26	保育参観 稲刈り(5歳児Gr.) 遠足(2歳児) なごやか広場(4.5歳児.保護者) 遠足(3歳児Gr.)		稲刈り(5歳)	4 10	要保護児童支援砧地域業議会 世田谷区園長会	4 12 19 20 24	保育会議、宇奈根運営会議 情報連絡会 計画会議(中間) 経営会議 嬉泉の保育の会

	27	親子交流会 (1歳児Gr.)						
11月	9 10	保育参観 K-C u p (5歳児Gr.) 遠足 (4歳児) 親子交流会 (2歳児Gr.)			13	世田谷区園長会	1 4 9 15 22	保育会議→中止、鎌田運営会議 新人フォローアップ 研修② 情報連絡会 経営会議 園長会
12月	1 7 20 22	親子交流会 (3歳児Gr.) K-C u p 表彰式 (5歳児Gr.) 全園児健診 クリスマス会		クリスマス会	5	世田谷区園長会	6 20 26 26	保育会議、宇奈根運営会議 経営会議 情報連絡会 嬉泉の保育の会 (11, 12月分)
1月		後期保護者会 (全Gr.)			9 24	世田谷区園長会 砧地域保育ネット	10 11 17 23 30	保育会議、鎌田運営会議 情報連絡会 経営会議 嬉泉の保育の会→中止 計画会議
2月	2	節分		節分	13	世田谷区園長会	7 7 8 21 27	保育会議、宇奈根運営会議 経営会議 (人事調整①) 情報連絡会 経営会議・園長会 嬉泉の保育の会
3月	1 9 19 22	ひな祭り 卒園式(5歳児) 進級を祝う会 (2-4歳児Gr.) K-C u p. 1Dayイベント (5歳児Gr.) 卒園遠足(5歳児)		ひな祭り 卒園式 (本園) 進級式 (分園) 進級式 (本園)	5	世田谷区園長会	2 6 6 14 19	全体職員研修 (まとめ) 保育会議、鎌田運営会議 経営会議 (人事調整②) 情報連絡会 嬉泉の保育の会→中止
備考	※誕生会、身体測定、避難訓練 (月1回) ※乳児健診 (月2回) ※全園児健診 (年2回)				※職員・給食会議(各月1回)			

事業拠点組織図 (嬉泉の保育)

